

山口県労福協機関紙 連合山口・労働金庫・こくみん共済coop山口推進本部・県生協連・13地区労福協

やまぐち労福協

vol.181
2020.12月号

一般社団法人 山口県労働者福祉協議会

〒753-0078 山口市緑町3番29号 TEL (083) 925-7332 FAX (083) 921-1650
Eメール roufuku@orange.ocn.ne.jp 発行人:山中 守・編集人:藤山 毅

「第42回福祉メーデー山口県集会」開催

～ コロナ禍の中で、今年度はじめての集会を開催 ～



11月10日（火）労福協会館において地区労福協・連合山口・事業団体・退職者連合より44名が参集し、第42回福祉メーデー山口県集会を開催しました。

「支え合い・助け合いを大切にし、全員でコロナ禍に立ち向かおう。」という岡崎副会長の開会挨拶に続き、議長に下松地区労福協友澤事務局長を選出しました。

主催者代表挨拶では中繁会長より「コロナ禍で社会経済への影響は大きく、とりわけ非正規労働者の雇用と生活の安定が課題となっている。このような状況の中で労福協は、労働者自主福祉運動の推進を柱に、SDGsの取り組みや2030年ビジョンと連携し、連帯・共同でつくる安心・共生の福祉社会の実現のため活動していく。みなさまの力添えをお願いする。」と挨拶しました。

基調報告では、県労福協山中専務より、コロナ禍での雇用対策等の支援策を含む、勤労者が安心・安全に暮らせる制度・施策の充実を目的とした「2021年度対県要請」について報告しました。

続いて中国労金「第7期中期経営計画骨子」、こくみん共済coop「enjoy たすけあい」、県生協連「生協連70年の歴史」の報告がされました。基調報告および集会宣言、スローガンは満場一致で採択されました。



— こくみん共済coop山口推進本部 浅田事業推進部長 —

最後に、伊藤副会長より「労働団体と福祉事業団体が、これまで以上に連携を強め、地域・職場で助け合いの機能を発揮することにより、コロナ禍の中で共助の拡大が図られると確信する。」と挨拶し集会を締めくくりました。

本年は、コロナ禍により3密を防ぐため参加人数を最小限にしたうえ、講演も行いませんでしたが、参加者の協力により充実した集会であったと考えます。

令和3年度対県要請書を提出

～ 勤労者福祉の充実・強化について～

11月24日（火）、山口県知事に対し「令和3年度 勤労者福祉の充実・強化」について要請書を提出しました。



－ 中繁会長と福田商工労働部長 －

初めに中繁会長より、県と商工労働部の労福協に対する日頃からの支援・協力に対して謝辞を述べるとともに「今年は、長引くコロナ禍により、社会・経済への影響が大きく、特に雇用への影響を危惧している。そうした中で、勤労者の福祉の向上、生活の安定を図るための施策をまとめた。検討をお願い

したい。」と挨拶し、福田浩治商工労働部長へ要請書を手交しました。

続いて、要請内容の趣旨を説明しました。

I. 制度・施策の改善と充実について

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴う支援策の強化
- (2) 勤労者に対する総合福祉施策の取り組み
- (3) 安心・安全な生活環境の整備促進
- (4) 格差の是正・貧困のない社会に向けたセーフティネットの強化
- (5) 県民が生き活きと暮らせる社会環境づくり
- (6) 地方消費者施策の充実

II. 労働者福祉事業の育成強化について

福田商工労働部長より「労働福祉政策を始めとする県行政全般の事業に支援・協力をいただき感謝申しあげる。コロナ禍により県財政も厳しい状況となっているが、要請事項については、県政全般にわたる幅広い要請であり、関係部局において検討したい。」と挨拶がありました。要請に対する回答は、来年2月中旬の予定です。

「奨学金に関する電話相談会」を実施

11月6日（金）9時～16時に「奨学金電話相談会」を実施しました。今年9月より中国労金が「奨学金借換専用ローン」を発売し、解決の選択肢が増えたことから、県労福協「福祉強化キャンペーン」の取り組み一環として全国一斉相談会に合わせて実施しました。

3年目の今年は、全国紙の山口県版（県内約11万部）への広告掲載や県労福協HPで事前告知し周知に注力しました。当日もNHKのお昼の全国ニュースで取り上げられる予定でしたがアメリカ大統領選開票速報や国会中継のため割愛

され、それが影響したのか、相談件数は0件でした。

中央労福協によると、全国の相談件数は55件で、うち中央労福協10件、西部ブロックは同日実施しない鳥取・広島を除き、四国が各県1件、島根1件、岡山0件でした。相談内容は、コロナ禍による収入減や失職による返済困難が多かったとのことでした。

県労福協では相談会の日以外にも日常的に奨学金に関する相談を受け付けし、引き続き奨学金に対するお悩みに寄り添っていきたいと考えます。

第30回山口県勤労者文化展 を開催しました

11月6日(金)～12日(木)に山口市「労福協会館」で開催した文化展には県内勤労者やOB・OGより写真29点、絵画20点の出品があり今年も多くの方にご来場いただきました。

写真の部では、風景・植物等を撮影した鮮やかな色彩の作品が多い中、コロナ禍ならではの日常風景やタイトルがつけられた作品がありました。

また、絵画の部は、色遣いや構図から季節感が伝わってくる美しい作品や今にも動き出しそうな生物を描いた作品に注目が集まりました。

会期中は、来場された方にお気に入りの作品の投票を実施し、96人の投票がありました。投票による入賞結果は以下のとおりです。

今年もご出品・ご来場ありがとうございました。



◆◆◆ 第30回 山口県勤労者文化展 入賞者 ◆◆◆

《写真の部》

※敬称略

賞	作品名	作者名	地区労福協名(所属)	
山口県労福協会会長賞	雪夜の工場夜景	西山 敏和	防 府	小郡郵便局
連合山口会長賞	黄昏の帰り道	山田 博之	下 松	日立労組笠戸支部
中国労働金庫山口県営業本部長賞	花蜜を求めて	松岡なほん	下 松	日立ハイテクノロジーズ
こくみん共済coop 山口推進本部長賞	医療従事者に感謝	藤本 哲男	下 松	日立ハイテクノロジーズOB
山口県生協連会長賞	火災	本村 貞明	山 口	JP労働組合山口中央支部

《絵画の部》

※敬称略

賞	作品名	作者名	地区労福協名(所属)	
山口県労福協会会長賞	迎秋の溪流	丸山 正博	下 関	三菱重工グループ労連下関地区本部
連合山口会長賞	安芸の吊り橋	橋本美保子	下 松	小林耳鼻咽喉科OB
中国労働金庫山口県営業本部長賞	しごくのかて	原田富士子	下 松	津永産婦人科
こくみん共済coop 山口推進本部長賞	山帰来(さんきらい)	中村 秀子	下 松	東ソー労組OB
山口県生協連会長賞	川のある風景	山本 初恵	萩・阿武	萩地区ろうきん友の会

高校生のための消費者講座2020」講師事前会議を開催

11月17日（火）県労福協の事業として中国労働金庫の協力により実施している「高校生のための消費者講座2020」の講師事前会議を行いました。

会議には、県内9営業店より選出された講師担当者と講座資料作成担当者の本部営業企画課の児玉 聖代理、山口県営業本部の杉本事務局長、県労福協より藤山事務局長が出席、今年12月から始まる講座の内容や事前準備等の意識合わせをしました。

今年は講師初心者が多く、パワーポイントを使用した講演実技や、良かった点や改善点等を講師経験者がフィードバックしたりと、

講師としての意識と社会に出ていく高校生がお金のトラブルで苦労しないようにという講座の意義、また、ろうきんの社会貢献活動としての認識を共有しました。



すでに、県内10校の高等学校より受講申し込みがあり、12月～来年2月にかけて講師のみなさんの活躍が期待されます。

2020年度「知的障がい者運転免許取得特別支援講座」開講式

～ 11/24 山口総合支援学校で開講 ～

11月24日（火）山口総合支援学校において「知的障がい者運転免許取得特別支援講座」の開講式を開催しました。



— 湯田自校 高木校長 —

講座の講師を担当する湯田自動車学校 高木毅校長より、「湯田自校は、この講座を初年度から実施し、今回が14回目の開催となる。この講座に参加した先輩の多くが運転免許を取っているの、みなさんもがんばって免許を取得してほしい。」と挨拶されました。

続いて受講する生徒代表が「運転免許取得のため、しっかり勉強したい。」と決意を伝え、開講式を終了しました。

この講座は、現在県内の特別支援学校7校で開催しており、今年度は45名が受講しました。（山口総合支援学校は開講中）

	受講者	修了者
柳井総合支援学校	10名	9名
山口総合支援学校	5名	開講中
山大附属特別支援学校	1名	開講中
山口南総合支援学校	9名	9名
宇部総合支援学校	13名	13名
下関総合支援学校	5名	4名
豊浦総合支援学校	2名	1名

講座を利用して一人でも多くの生徒が運転免許を取得し、将来の仕事や生活に役立ててくれることを期待します。